

ま行

マイクロメートル

1000分の1ミリメートルのこと。

未利用有機性資源

生物に由来する資源であって、処理を加えることによって再利用が可能なもの。具体的には、生ごみなどの食品関係廃棄物、わら類、家畜排せつ物、水産系廃棄物、木質系廃棄物、下水污泥等。

面源

工場排水や生活排水は排水口から排出されるので「点源」と呼ばれるのに対して、降雨に伴って面的に流出する農業系や山林系の負荷のことを「面源」と呼ぶ。

や行

有機塩素系化合物

トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン等の総称であり、揮発性、不燃性で、水に溶けにくい液体であり、生物分解性は悪い。

ら行

ライフサイクルアセスメント

原料の採取から製造・使用・廃棄までを通して、製品やサービスの環境負荷を評価する手法。

硫酸イオン

電解質例えば塩化ナトリウムは、水溶液中で、ナトリウム陽イオンおよび塩素陰イオンとして存在する。ちなみに硫酸イオンは陰イオンである。このように、水溶性のイオンが存在することで、溶液（雨も溶液である。）が酸性になったりアルカリ性になったりする。

レッドデータブック

絶滅の危機にある野生生物の現状を記録した資料集のことをいい、国際自然保護連合が、1966年以来発行している。日本では、平成3年の環境庁「日本の絶滅のおそれのある野生生物（脊椎動物、無脊椎動物）」をはじめ、植物、地形などについても関係機関から発行されている。

わ行

ワークショップ

参加者の自主的活動により、専門家の助言などを得ながら、問題の解決に当たろうとするやり方。